

酒々井町

郷土研究会会報

第140号

平成23年4月1日
酒々井町郷土研究会
広報部

第35回定期総会開催される

第35回定期総会は1月30日(日)、中央公民館において開催されました。はじめに岡田利光会長の挨拶、そして来賓を代表して小坂泰久町長の挨拶の後、議長に古川好夫氏が指名され、議事に入りました。

まず、平成22年度事業報告と決算報告、続いて平成23年度事業計画及び予算案がそれぞれ審議され、いずれも提案どおり承認されました。

役員改選では運営委員の留任と行武政市氏の監事退任、木村雍子氏の監事就任が承認され閉会しました。

総会終了後、行武政市氏のさやかな慰労会が行われ、岡田会長から花束が贈られました。

行武氏は平成3年から役員として20年間ご尽力を頂きました。益々のご長寿をお祈りいたします。



花束を贈られた行武氏

会長挨拶要旨

ご臨席の小坂町長をはじめ、皆様方のご協力とご指導により、昨年は諸行事を大過なく行うことができました。今年には魅力のある行事を積極的に取り組むなどして新会員の加入を促進したい。

町長挨拶要旨

皆様の常日頃の活動に敬意を表します。町では、平成24年度に新総合計画が策定されますが、本佐倉城跡の整備と合わせ、文化財などの情報発信をして酒々井の名を高めていきたい。

平成23年度 事業計画

事業名	回数	1期			2期			3期			4期		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1 定期総会	1	○											
2 会報発行	4	○			○			○			○		
3 講座・学習会	郷土史講座	1							○				
	町内史跡巡り	1					○						
	史談会	8		○	○		○	○		○	○		○
4 研修・見学会	宿泊見学会	1					○						
	日帰り見学会	2	○								○		
	名勝探訪	4			○			○		○			○
5 野草の会	七草粥を食べる会	1		○									
	野草観察会	2				○				○			
6 発表会	1										○		
7 役員会・運営委員会	5	○	○				○			○		○	

*新役員名簿は4ページに掲載

『七草粥を食べる会』に

90名が参加

毎年恒例行事となった郷土研究会の最大のイベント「七草粥を食べる会」が、今年も2月10日(水)、中央公民館講堂で開催されました。

当日は大盛況で、最終的な参加人数は90名となりました。お手伝いの方々も女性31名、男性11名と大変多くの方々に協力いただきました。会食は和やかな雰囲気になりました。全員が満足感に溢れていました。また、3氏から七草お題の三句が披露され、会場を盛り上げてくれました。



お粥と旬の野菜を使った食事に舌鼓を打つ

七草粥にて詠む

めぐり会ふ七草粥の香りかな

高木 元

七草や全て地産を誇れけり

浜口 仁

久に会ふ友と語らひ七日粥

丸山 緑 酔

『七草粥を食べる会』

を終えて

開催日の二・三日前に、野草部のメンバーほか数人で、七草の採取に行きましたが、今年は寒く、例年よりも生育が悪く苦労したようです。

前日には大根、人参、椎茸、こんにゃく、ごぼう、昆布、鶏肉などの煮物をしましたが、量が多く味付けに苦労しました。それでもそれぞれの料理に各家庭の味が出ていて、仕上がりは素晴らしかったです。

当日は野草部の方々の早めの集合で、おにぎり用のご飯のスイッチを入れ、煮物の汁きりやお弁当の数の確認など、表には出てこない準備で大忙しでした。

集合時間近くになると、調理室はお手伝いの人でムンムンでした。その中で、各自それぞれの持ち場で手

際よく白和え・白玉団子・てんぷら揚げ・粟入りおにぎり作りなどの回るような動きでした。

会場では男性が手際よくテーブル並べや、テーブルセット、お粥用のどんぶりの用意をしてくれました。



調理室では次々に料理をお弁当に盛り付ける

毎年の恒例行事ですが、郷土研究会の最大のイベントです。年が明けると野草部は、計画と準備で大変です。今年も役員ほか、皆様の協力です。今年も役員ほか、皆様の協力です。今年も役員ほか、皆様の協力です。今年も役員ほか、皆様の協力です。

喜ばれて良かったです。本当にありがとうございました。

初詣 「スカイツリー」の周辺を

歩こう」に参加して

重昆順二

平成23年、最初の行事に、51名の会員と共に参加した。京成線に乗り70分程で曳舟駅に着く。

まず長命寺に向う。時折見えるスカイツリーのトップには雲がかかる。

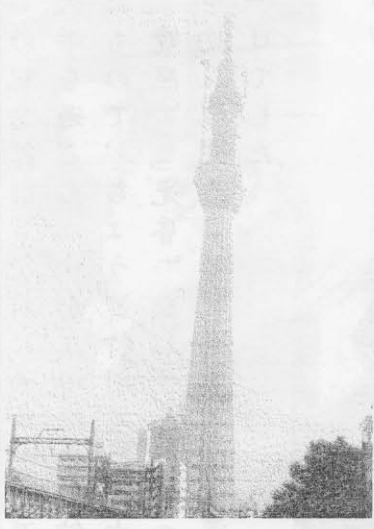
寶壽山長命寺は、徳川三代將軍の名も出てくる古刹だが、境内はさほど広くない。本堂の前に長命水の名を頂いた井戸がある。隅田川七福神めぐりの弁財天も祀られ、境内には幼稚園もあり、また、近くには名物の桜餅の「山本や」がある。明治の歌人正岡子規もこの二階に滞在し、詠んだ歌「花の香を若葉にこめてかぐはしき桜の餅家づとにせよ」があるとのことだが、あいにく定休日である。残念。

この長命寺の隣が黄檗宗弘福寺で、山門・本殿も、同宗の特徴の中国風の重層屋根が良い。境内も広く、本堂内に金色の布袋尊が鎮座していた。また、本堂手前右手の小さな祠に「咳」と「風邪」よけの御利益がある爺・婆の顔が刻まれた、左右二基の石像

があり、社務所では咳止め飴も売られている。

この山門を出て右へ300メートル程南へ行く。右側に三囲神社がある。ここも境内が広く、幾つかの建物があり、本殿前に神社の名前の由来の狐が狛犬代わりに左右あり、左の狐はちよつと下がり目で愛嬌がある。この左奥のこじんまりした社に、越後屋(三越)より贈られた、左甚五郎作と言われる、「大國神・恵比寿神」が納められている。境内には青銅のライオン像も置かれ、三越とゆかりも深い。

スカイツリーも青空をバックに間近に見え、隅田川堤を歩き、吾妻橋を渡り、浅草寺雷門に向かう。観音様をお参りして昼食、解散となった。江戸の浮世にちよつと触れた一日でした。役員の皆様お疲れ様でした。



隅田川畔から見たスカイツリー

〈観察メモ〉

野草部

ハハコグサ (キク科)

「母子草」と書きますが、冠毛がほうけ立つことから「ホホコグサ」が語源ともいわれます。酒々井でも道ばたや畑・庭等でよく見かけます。草丈は15〜30センチ、葉にへこのような形の葉は倒披針形といいますが、柄が無く白い綿毛でおおわれています。花は黄色で茎頂にかたまっています。古くからオギヨウまたはゴギヨウと呼ばれ、春の七草の一つで、例年郷土研で行われている「七草粥を食べる会」でもお粥の中に入れていきます。やさしい黄色の花を探しに、野山に出かけてみてはいかがでしょうか。



〔注〕本佐倉城跡周辺の野草(二)は次号に掲載します。

中山法華経寺を詣でる

T・O記

初冬の日、京成中山駅から黒門を経て電線地中化されてすっきり整備された参道を進み、仁王門をくぐると広大な寺院が展開する。一行34名身を引締めて下総の霊場の名勝探訪です。

中山法華経寺は日蓮の霊峰大本山であり、平成9年に10年の歳月をかけ解体修復し完成した祖師堂は創建当時の比翼入母屋造りに復元されたもので、国内二例目という非常に威厳の高い建物である。

また元和8年日慈上人代、本阿弥光室の本願によって加賀前田利光公の寄進により建立された五重塔も非常に重厚で約400年の歴史を感じる。この五重塔をバックに撮影する方が非常に多かった。

この他境内に堂が沢山あって全部は参拝できなかった。ただ妙見堂は千葉家伝来の北辰妙見尊星を貞胤の息子である三祖日祐上人が奉安したものでこれはよく参拝した。

時間を定めて集合し次の見学先、東山魁夷記念館に8分程歩いて到着。

この記念館は5年前に画伯が生涯の大半を過ごしたゆかりの地に開館したもので、ちようと特別展開催中で「晩照」・「光昏」など秋色風趣の画を30点程観ることが出来て印象深い一日でした



国指定重要文化財の五重塔

郷土研トピックス!

★昨年12月11日、千葉市において千葉県郷土史研究発表会が開催され、岡田会長が出席し「本佐倉城跡と千葉氏」について発表しました。

★郷土研究会は昭和52年発足から本年は35周年を迎えます。これを記念して本佐倉城跡と酒々井宿を中心とした「しすいの昔」を研究し、10月に展示会を開く予定です。

★3月22日の名勝探訪「鹿島神宮方面」は東北関東大震災の影響で中止しました。

平成23年度役員・運営委員名簿

職名	氏名	電話
会長	岡田 利光	
副会長	高木 正浩	
	寺本 恵美	
会計	丸山 正義	
	(兼任)久我 かず子	
監事	執行 正勝	
	(兼任)木村 雍子	
運営委員		
(総務部)	久我 かず子	
	(兼任)白鳥 昭興	
(広報部)	白鳥 昭興	
	木村 雍子	
	(兼任)進藤 浩一	
(研修部)	(兼任)寺本 恵美	
	桂 啓子	
	(兼任)執行 正勝	
	浜口 信義	
	古川 好夫	
	養輪 光正	
	進藤 浩一	
	前田 國廣	
(野草部)	犬島 正子	
	大沢 博	
	石井 康子	
	浅香 征子	

見学案内

町内史跡めぐり

馬橋・墨方面

5月22日(日) 雨天中止
みどりがかきれいな時期、町の指定石仏が多くある東光寺や昔の面影を残す芝山道を歩きます。

馬橋の鎮守様や酒づくりのまがり家を見学し、墨の鎮守様も参拝して、めずらしいイチヨウの木のある泉光院を訪ねて解散します。
大勢の参加をお待ちしております。

宿泊見学会

【中止】

水戸・袋田温泉方面

5月10日(火)〜11日(水)
山と緑の豊かな袋田の滝を見学に行きましょう。

テレビでおなじみの黄門さまの隠居所・西山荘も見学し、水戸文化を堪能してきました。
また、那珂湊では海の幸を試食します。お土産にもいいですね。
近いので、皆さん参加してみてください。

借楽園

水戸市の丘陵上にある庭園式の公園です。金沢の兼六園・岡山の後楽園と並んで日本三名園の一つとされている。

西山荘

水戸光圀が元禄4年(1691)の64歳から73歳までの晩年を過ごし大日本史の編さんを行った場所である。
日本三名瀑のひとつで、荘厳な岩肌を清流が水しぶきをあげて流れ落ちる。別名「四度の滝」とも言われている。

名勝探訪

東金方面

雨天代替日 6月6日(月)
6月8日(水)
水田の灌漑と防火用水のために造られた八鶴湖の周辺を散策します。徳川家康が御成街道を通って鷹狩りに来た最終宿泊地・東金御殿は、今は東金高校になっています。近くには東金酒井氏の菩提寺である本漸寺。「切られ与三郎」のモデルとなった伊三郎の墓がある最福寺。坂を登ると40本以上の杉の大木がある日吉神社などを見学します

郷土研日誌

Table with 3 columns: 月日, 内容, 参加者. Lists various activities and participant counts from 2022 to 2023.

七草粥を食べる会 会計報告

Financial report table for the 'Seven Grass Congee Eating Club' with columns for items and amounts.

郷土研行事案内

平成23年4月～6月

史談会	4月 休講	5月 7日(土) 13:30 中央公民館会議室 「成田参詣記」⑭ 講師：高橋健一先生	6月 4日(土) 13:30 中央公民館会議室 「成田参詣記」⑮ 講師：高橋健一先生
野草観察会	<p>「本佐倉城跡周辺」</p> <p>4月26日(火) 雨天中止</p> <p>集合時刻・場所 9:25 中央公民館</p> <p>参加費 200円</p> <p>弁当、飲み物、敷物等各自持参 14:00頃現地解散予定</p> <p>当日の問合せ 8:20～8:50 犬島 [] まで</p>		
宿泊見学会	<p>「水戸方面」</p> <p>5月10日(火)～5月11日(水) 東北関東大震災のため、中止します。</p> <p>参加費 25,000円 (観光バス利用)</p> <p>宿泊先 思い出浪漫館 ☎0295-72-3111</p> <p>☆参加者が少ない場合、中止することがあります。</p> <p>集合時刻・場所 午前6:50 中央公民館前</p> <p>第1日 中央公民館(7:00)―成田―稲敷IC―(圏央道・常磐道)―水戸南IC―水戸市内(偕楽園、好文亭、常盤神社、桜田門外オープンセット)―水戸(昼食)―水戸美術館―常陸大宮―袋田の滝―袋田温泉泊(17:00頃)</p> <p>第2日 ホテル(8:30)―常陸太田―西山荘―ひたち海浜公園―那珂湊―大洗―磯前神社―サングリーン旭―鹿島―道の駅潮来―潮来IC―(東関東)―富里IC―公民館(18:30)頃</p> <p>問合せ 寺本 [] まで</p>		
町内史跡めぐり	<p>「馬橋・墨方面」</p> <p>5月22日(日) 雨天中止</p> <p>集合時刻・場所 9:30 中央公民館前</p> <p>参加費 100円 弁当・飲み物等各自持参</p> <p>コース 公民館…東光寺…芝山道・大川戸…東伝院…香取神社…まがり家(昼食)…六所神社…泉光院…公民館 (行程約6km)</p> <p>15:00頃解散予定</p> <p>当日問合せ 岡田 [] まで</p>		
名勝探訪	<p>「東金方面」</p> <p>6月6日(月) 雨天代替日 6月8日(水)</p> <p>集合時刻・場所 8:30 JR酒々井駅 改札口前</p> <p>参加費 100円(交通費各自負担) 弁当、飲み物、敷物等各自持参</p> <p>コース JR酒々井駅―佐倉駅―成東―東金駅…日吉神社…八鶴湖(昼食)…東漸寺…本行寺…最福寺…東金駅―JR酒々井駅 17:00頃帰着予定</p> <p>(一部コース変更の場合あり) 当日問合せ 寺本 [] まで</p>		